

事業所名		日立市母子療育ホーム				支援プログラム				作成日		2025 年		6 月		24 日	
法人（事業所）理念		ここは書物を学ぶところである。どんなに障害が重くとも、一人の人間としてその生命は尊重されなければならない。障害のある人たちを囲んで幸せな社会の建設を目指す日立市民の心の象徴として日立市太陽の家は生まれた。この家は、すべての障害児（者）を守りその行為を通して市民一人一人が生命の尊さを考える場としたい。															
支援方針		障害のある人たちの自立生活の実現を目指します。（NP0法人の支援目標）															
営業時間		8 時		30 分		から		17 時		15 分		まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・体調の把握 ・通院状況の把握 ・家族の健康等への留意 ・生活状況の確認等															
	運動・感覚	・関節可動域訓練 ・バランス訓練 ・筋力、持久力訓練 ・感覚統合 ・歩行訓練等															
	認知・行動	・自己選択 ・自己決定 ・指先を使う経験を増やす ・ADLの確立 ・環境の構造化															
	言語 コミュニケーション	・構音訓練 ・絵カードやスケジュールボードを使った視覚支援 ・ジェスチャーや手話、カードなどを使ったコミュニケーションツールの活用															
	人間関係 社会性	・小集団療育への参加 ・いろいろな場面設定をし、支援者と一緒に経験する ・母子分離の時間を作る															
家族支援		・必要に応じて自宅訪問し、家族に代わって見守り等を支援する。 ・兄弟児の相談等にも対応する。 ・病院等の機関と連携し、情報共有を図る。 ・日常生活用具や補装具、福祉サービスについて情報提供を行う。 ・保護者会（月1回のお茶会）へ参加する。								移行支援		・移行期にスムーズに行えるよう、日頃から他機関と連携を図る。 ・ケース会議や移行支援会議に参加する。					
地域支援・地域連携		・地域の夏祭りへの参加 ・福祉団体の運動会に参加 ・他事業所の意見交換会								職員の質の向上		・週に1回のスーパーバイズ（OT職員による） ・2ヶ月に1回のOJT（職場内研修） ・講師を呼び、職員研修を実施 ・専門職を活かした支援の連携 ・月1回程度、ケース会議の実施					
主な行事等		・春の遠足 ・講師による相談会 ・夏季日課 ・避難訓練 ・夏祭り ・運動会 ・お別れ会 ・防犯訓練 ・親の会意見交換会 ・お楽しみ会 ・奉仕日															